

# 財務諸表の説明

## 貸借対照表

貸借対照表は、年度末（3月31日）における本学の財政状態を明らかにすることを目的とし、本学が有する資産、負債及び純資産の状況を表します。

(単位：百万円)

資産の部			
	平成26年度	平成27年度	増減
<b>I 固定資産</b>	279,551	272,862	△ 6,689
1 有形固定資産	275,485	269,508	△ 5,977
土地	128,142	128,142	0
建物	88,973	88,900	△ 72
構築物	2,586	2,478	△ 108
工具器具備品	24,437	20,700	△ 3,736
図書	22,495	22,571	75
美術品・収蔵品	323	327	3
船舶	6,304	5,749	△ 554
その他	2,221	637	△ 1,584
2 無形固定資産	694	725	31
ソフトウェア	271	308	37
その他	423	417	△ 5
3 投資その他の資産	3,371	2,627	△ 743
投資有価証券	2,929	2,227	△ 701
その他	442	399	△ 43
<b>II 流動資産</b>	29,705	23,007	△ 6,697
現金及び預金	8,614	5,576	△ 3,037
未収学生納付金収入	155	135	△ 19
未収附属病院収入	4,842	5,319	477
未収入金	1,384	1,267	△ 117
有価証券	14,007	10,004	△ 4,002
たな卸資産	43	30	△ 13
医薬品及び診療材料	495	489	△ 6
その他	162	184	22
<b>資産合計</b>	<b>309,256</b>	<b>295,870</b>	<b>△ 13,386</b>

負債の部			
	平成26年度	平成27年度	増減
<b>I 固定負債</b>	68,230	62,095	△ 6,135
資産見返負債	56,116	53,921	△ 2,194
長期寄附金債務	0	0	0
債務負担金	5,877	4,230	△ 1,646
引当金	597	325	△ 271
長期未払金	4,324	2,650	△ 1,673
資産除去債務	1,314	966	△ 347
<b>II 流動負債</b>	30,875	23,377	△ 7,498
運営費交付金債務	2,475	0	△ 2,475
寄附金債務	7,262	7,003	△ 259
前受受託研究費等	1,053	1,395	342
1年以内返済債務負担金	1,846	1,646	△ 199
1年以内返済長期借入金	0	0	0
未払金	15,655	10,485	△ 5,170
その他	2,581	2,844	263
<b>負債合計</b>	<b>99,105</b>	<b>85,472</b>	<b>△ 13,633</b>

純資産の部			
	平成26年度	平成27年度	増減
<b>I 資本金</b>	154,570	154,570	0
<b>II 資本剰余金</b>	27,000	25,810	△ 1,189
<b>III 利益剰余金</b>	28,581	30,017	1,436
前中期目標期間繰越積立金	20,097	20,084	△ 12
目的積立金	834	0	△ 834
積立金	7,018	7,649	630
当期末処分利益	630	2,283	1,653
<b>純資産合計</b>	<b>210,151</b>	<b>210,397</b>	<b>246</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>309,256</b>	<b>295,870</b>	<b>△ 13,386</b>

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

## 主な増減等

### 【資産】 295,870百万円 (△13,386百万円)

- 工具器具備品：△3,736百万円  
※減価償却累計額の増
- 現金及び預金：△3,037百万円  
※現金及び預金による支払の増
- 有価証券：△4,002百万円  
※譲渡性預金及び金銭信託の減

### 【負債】 85,472百万円 (△13,633百万円)

- 資産見返負債：△2,194百万円  
※資産見返補助金等の減
- 運営費交付金債務：△2,475百万円  
※第二期中期目標期間最終年度のため債務0
- 未払金：△5,170百万円  
※4月支払物件費等の減

## 会計メモ① 企業会計のBSとの違い

国立大学法人会計では、運営費交付金等を受領した際、直ちに収益とせず、教育研究の義務を負ったと考え、いったん運営費交付金債務（負債）とします。また、資産の購入にあてた運営費についても資産見返負債とします。これらは、損益均衡のための仕組みであり、教育研究の実施や減価償却の進行に応じて、収益化していきます。

# 財務諸表の説明

## 損益計算書

損益計算書は、一会計期間（4月1日～3月31日）の運営状況を明らかにすることを目的とし、費用及び収益の状況を表します。

(単位：百万円)

費用			
	平成26年度	平成27年度	増減
<b>I 経常費用</b>	92,929	96,486	3,556
業務費	88,566	93,006	4,440
教育経費	5,607	5,928	320
研究経費	12,110	12,170	59
診療経費	16,314	17,066	752
教育研究支援経費	1,722	2,078	356
受託研究費	5,722	7,291	1,569
受託事業費	569	748	178
人件費	46,518	47,723	1,204
一般管理費	3,927	3,134	△792
財務費用	435	344	△91
雑損	0	0	0
<b>II 臨時損失</b>	1,592	1,742	150
<b>費用合計</b>	<b>94,521</b>	<b>98,228</b>	<b>3,706</b>
<b>当期総利益</b>	<b>630</b>	<b>2,283</b>	<b>1,653</b>
<b>計</b>	<b>95,152</b>	<b>100,512</b>	<b>5,360</b>

収益			
	平成26年度	平成27年度	増減
<b>I 経常収益</b>	95,086	99,533	4,446
運営費交付金収益	36,731	38,201	1,470
学生納付金収益	9,025	9,563	538
附属病院収益	26,774	28,239	1,464
受託研究等収益	5,705	7,269	1,563
受託事業等収益	570	752	182
寄附金収益	2,163	2,104	△59
施設費収益	2,320	1,627	△693
補助金収益	3,538	3,359	△179
資産見返負債戻入	5,301	5,672	370
財務収益	33	27	△5
雑益	2,919	2,714	△205
<b>II 臨時利益</b>	12	751	738
<b>収益合計</b>	<b>95,099</b>	<b>100,284</b>	<b>5,185</b>
<b>目的積立金等取崩額</b>	<b>53</b>	<b>228</b>	<b>174</b>
<b>計</b>	<b>95,152</b>	<b>100,512</b>	<b>5,360</b>

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

## 主な増減等

### 【経常費用】 96,486百万円 (+3,556百万円)

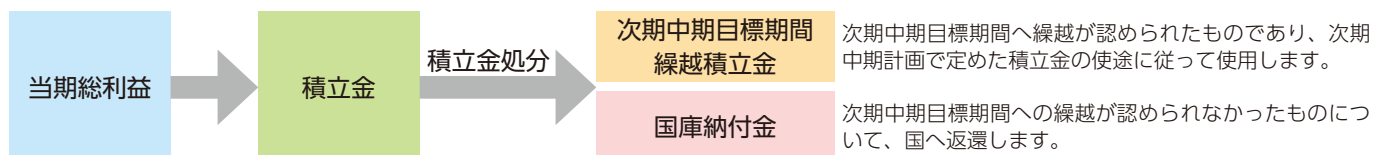
- 受託研究費：+1,569百万円  
※受入額増加に伴う増
- 人件費：+1,204百万円  
※年俸制の導入、人員の増等
- 一般管理費：△792百万円  
※重要文化財の改修費用の減

### 【経常収益】 99,533百万円 (+4,446百万円)

- 運営費交付金収益：+1,470百万円  
※当期交付額の増、次期への繰越額の減
- 附属病院収益：+1,464百万円  
※診療単価の上昇等に伴う増
- 受託研究等収益：+1,563百万円  
※受入額増加に伴う増

## 当期総利益2,283百万円はどうなる？

平成27年度は、通常の事業年度とは異なり、第二期中期目標期間の最終年度であるため、全て積立金として処理されます。また、「積立金処分」の手続きが必要となります。積立金のうち、文部科学大臣の承認を得たものに限り、次期へ繰り越すことが認められていますが、それ以外のものについては国へ返還する必要があります。



## 会計メモ② 企業会計のPLとの違い

企業会計では、利益に直結する売上高（収益）を重視しているのに対し、国立大学法人会計では業務の遂行状況がわかる費用を重視しています。また説明責任を果たすという観点及び法人の特色ある発展に向けての検討に寄与するという観点から、教育研究などの目的別に分類表示することが求められています。

## キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間のお金の流れを表します。

(単位：百万円)

	説明	平成26年度	平成27年度	差額
I 業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外）の取引に係る収入と支出の差額	7,612	6,227	△ 1,385
II 投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額	△ 3,101	△ 5,577	△ 2,475
III 財務活動による キャッシュ・フロー	資金の調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	△ 3,915	△ 3,687	227
IV 資金増加額（I + II + III）	当期中の現預金（拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金）増減額	595	△ 3,037	△ 3,633
V 資金期首残高	前期末現預金残高	8,019	8,614	595
VI 資金期末残高（IV + V）	当期末現預金残高	8,614	5,576	△ 3,037

注）各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

## 利益処分に関する書類

損益計算の結果、当期に発生した利益の処分について明らかにしたものです。

(単位：百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
I 当期末処分利益	630	2,283	1,653
当期総利益	630	2,283	1,653
II 積立金振替額	0	20,084	20,084
前中期目標期間繰越積立金	0	20,084	20,084
III 利益処分数額	630	22,368	21,737
目的積立金（教育研究向上及び組織運営改善積立金）	0	0	0
積立金	630	22,368	21,737

目的積立金 … 現金の裏付けのある利益、文部科学大臣の承認を経て次年度に繰越できる。

積立金 … 現金の裏付けのない形式的な利益

注）各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

## 国立大学法人等業務実施コスト計算書

大学運営にかかる国民負担額を明らかにしたものです。損益計算書の費用から自己収入を控除し、損益計算書に計上されないコストや機会費用を加味して算出します。

(単位：百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
I 業務費用	46,565	46,467	△ 97
(1) 損益計算書上の費用	94,521	98,228	3,706
(2) (控除) 自己収入等	△ 47,956	△ 51,761	△ 3,804
II 損益外減価償却相当額	4,406	4,552	146
III 損益外減損損失相当額	4	30	26
IV 損益外利息費用相当額	11	△ 55	△ 67
V 損益外除売却差額相当額	413	△ 17	△ 431
VI 引当外賞与増加見積額	△ 122	△ 55	67
VII 引当外退職給付増加見積額	△ 897	738	1,635
VIII 機会費用	705	21	△ 684
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	18	21	3
・政府出資の機会費用	687	0	△ 687
IX (控除) 国庫納付額	-	-	-
X 国立大学法人等業務実施コスト	51,086	51,680	593

注）各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

北大の1年間の運営にかかる国民一人当たりのコスト

業務実施コスト 516億円

人口1億2,704万人

一人あたり 406円

(算出方法)

業務実施コスト516億円÷人口1億2,704万人

人口：平成28年1月1日現在（総務省統計局データより）